

サウジアラビア投資環境・市場調査

—観光産業—

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部

2021年2月

目次

1. 市場概況

- (1) サウジアラビアの観光産業 3
- (2) 主要な観光統計 13
- (3) 主な観光名所とイベント 19

2. 市場参入情報

- (1) 市場セグメントの分析 30
- (2) 市場参入モデル 46
- (3) 市場参入の規制と優遇措置 50

目次

1. 市場概況

- (1) サウジアラビアの観光産業
- (2) 主要な観光統計
- (3) 主な観光名所とイベント

2. 市場参入情報

- (1) 市場セグメントの分析
- (2) 市場参入モデル
- (3) 市場参入の規制と優遇措置

(1) | サウジアラビアの観光産業

サウジアラビアの基礎データ



- 君主制のイスラム教国。
- イスラム教の2大聖地がある。
- 世界で14番目に大きい国。
- 世界最大の砂漠を持つ。
- 世界の石油埋蔵量の約22%を保有。
- 世界銀行から中東でもっともビジネス環境が優れていると評価されている。
- 進んだ銀行システムを有している。



(出所) 2019年世界銀行データバンク、CNN Editorial Research 2020、2019年WEF旅行・観光競争力レポート、GASTAT

(注1) サウジアラビアの労働人口に占める失業者割合を示す完全失業率は6%

(注2) 世界経済フォーラムが発表した2019年の旅行・観光国際競争力指数

(1) | サウジアラビアの観光産業

SWOT分析

- 伝統的に宗教ツーリズムを重視しており、ビジョン2030を旗印に観光振興に向けて戦略的な取り組みを行っている。



強み (S)

- 2つの非常に重要な聖モスクがある
- 歴史的および宗教的に重要な多数の遺跡
- 現在のインフラ、施設、サービスの拡張とアップグレードに向けた政府の継続的な取り組み
- 外国人投資家への市場開放の進展

弱み (W)



- 労働力の再編が観光産業における有資格労働力の供給に及ぼす影響
- まだ未開発な一部の娯楽産業
- 一部地域では未整備な公共交通インフラ
- 宗教行事が宿泊施設の需給状況を左右



機会 (O)

- 外国人投資家にとってサウジアラビアの魅力を高める政策「ビジョン2030」
- 旅行セクターの成長を後押しする複数のメガプロジェクト
- 格安航空会社の規制緩和を契機とする新規航空会社の参入機会
- 国内/地域の空の旅への巨大な需要が促す地域拠点の設立

脅威 (T)



- 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行による継続的な渡航禁止
- 中東地域の同業者との激しい競争
- 中東地域における継続的な政情不安

(出所) ユーロモニターインターナショナル2019年9月のデータ

(1) | サウジアラビアの観光産業

ビジョン2030

- サウジアラビアはビジョン2030の下で、観光セクターの持つポテンシャルを最大限に引き出し、観光のGDPへの寄与度を高めるよう、鋭意取り組んでいる。

ビジョン2030の 観光関連の目標	2018年 (基準値)	2030年
年間訪問者数	5,810万人	1億人
GDPに占める 観光業の割合	3%	10%
観光業の雇用	553,000	160万人

観光戦略に従い、以下のとおり国内の主要なインフラおよびサービスの開発に取り組んでいる

- 今後3年間でホテルの客室数を15万室以上増加させる計画が進行中
- インフラの改善および利用可能なホテルの客室数増加を目指し、総額1,150億サウジ・リアル（SAR）を超える複数の協力覚書（MoU）を締結
- 7つの新空港を建設中、年間の旅客収容能力2,500万人を目指す
- 2019年に観光ビザの発給開始
- 観光セクターのオペレーターおよび従業員を訓練するTakamulプログラムが始動
- 聖都間を結ぶハラマイン高速鉄道が開通

(出所) 観光省、2018年MAS観光統計レポート、InvestSaudi

(1) | サウジアラビアの観光産業

政策フレームワーク

- 新たな観光産業規制「観光法」が公布されている。サウジアラビアの観光産業全体を規制し、魅力的な投資環境を提供することを目指している。



ライセンスの 供与

- 観光産業に該当するすべての活動がSCTH¹の統制下に
- 観光業における事業活動は、SCTHから適切にライセンスを取得し、関連するすべての承認を得ていなくてはならない
- 観光ガイド（サウジアラビア国民に限定）を除いて、外国の団体または個人による観光活動が可能
- 観光法の違反は罰金やライセンス取消しにつながる可能性がある



投資

- サウジアラビア側が株式を保有する営利団体の最低資本金は2,660万SAR、サウジアラビア側の最低持分比率は25%。資本金が3,000万SARを超える場合、外国からの出資が2,000万SARを超えていればサウジアラビア側の最低持分比率はない
- 法人所得税：国内法人の非居住者が保有する持分に20%の課税
- VAT（付加価値税）が最近15%に引き上げられている
- 外国人投資家は、実行可能なサウダイゼーション（サウジ人雇用促進）計画を説明する必要がある



一般的な 規定

- 公共の場では、観光客は体の線が出る服を避けて、控えめな服装をするように求められる
- 訪問時には冒とく的な言葉の使用は避けなくてはならない。公共の場での過度な愛情表現などは地元文化にそぐわないので避けること
- アルコール飲料の販売、購入、消費は違法
- ラマダン月における公共の場での飲食は避けるべき

（出所）出典：観光省、投資省

（注¹）サウジアラビア観光・国家遺産委員会（SCTH）

(1) | サウジアラビアの観光産業

主要機関 ①

- 近年、サウジアラビアは観光産業を取り巻く環境を抜本的に改革しており、複数の機関が観光セクターの規制、宣伝、開発、検査活動を監督するように推進している。



政策決定



振興開発



モニタリング・報告



SAUDI
TOURISM
AUTHORITY
الهيئة
السعودية
للسياحة



الهيئة العامة للترفيه
General Entertainment Authority

Tourism
Development
Fund
صندوق
التنمية
السياحي



The Red Sea
Development
Company

الهيئة الملكية لمحافظة العلا
Royal Commission for AlUla



مركز المعلومات والأبحاث السياحية
Tourism Information and Research Centre
mas.gov.sa



الهيئة العامة للإحصاء
General Authority for Statistics












(出所) 出典：観光省、投資省

(注1) サウジアラビア観光・国家遺産委員会 (SCTH)

(1) | サウジアラビアの観光産業

主要機関 ②

- 近年、サウジアラビアは観光産業を取り巻く環境を抜本的に改革しており、複数の機関が観光セクターの規制、宣伝、開発、検査活動を監督するように推進している。













 組織名	 任務の概要
 観光省	観光セクターの組織化、規制、誘導
 サウジアラビア観光局	旅行および観光セクターの発展の支援
 娯楽庁	エンターテインメントセクターを組織、開発、主導し、ライフスタイルを豊かにする
 サウジアラビア観光開発基金	観光セクターへの投資および資金調達の促進
 ディルイーヤ門開発局	歴史的な街ディルイーヤの保存および祝賀イベント開催
 紅海開発会社	紅海沿いの新しい国際的な高級観光地の開発、促進
 アルウラ王立委員会	アルウラの古代遺跡および史跡の保存、開発
 観光情報・観光センター	観光データの収集および関連調査の実施
 統計庁	全国調査などの調査の実施

(出所) 観光省、2018年MAS観光統計レポート

(1) | サウジアラビアの観光産業

主要機関 ③

- 近年、サウジアラビアは観光産業を取り巻く環境を抜本的に改革しており、複数の機関が観光セクターの規制、宣伝、開発、検査活動を監督するように推進している。

 組織名	 組織の代表	 監督機関
 観光省	アフマド・アル・ハティーブ閣下	閣僚評議会
 サウジアラビア観光局	アフマド・アル・ハティーブ閣下	観光省
 娯楽庁	トウルキ・アル・シェイク閣下	宮廷
 サウジアラビア観光基金	アフマド・アル・ハティーブ閣下	観光省
 ディルイーヤ門開発局	ムハンマド・ビン・サルマン皇太子	CEDA ¹
 紅海開発会社	ムハンマド・ビン・サルマン皇太子	CEDA
 アルウラ王立委員会	ムハンマド・ビン・サルマン皇太子	CEDA
 観光情報・観光センター	アフマド・アル・ハティーブ閣下	観光省
 統計庁	ムハンマド・アル・ジャダーン閣下	経済企画省

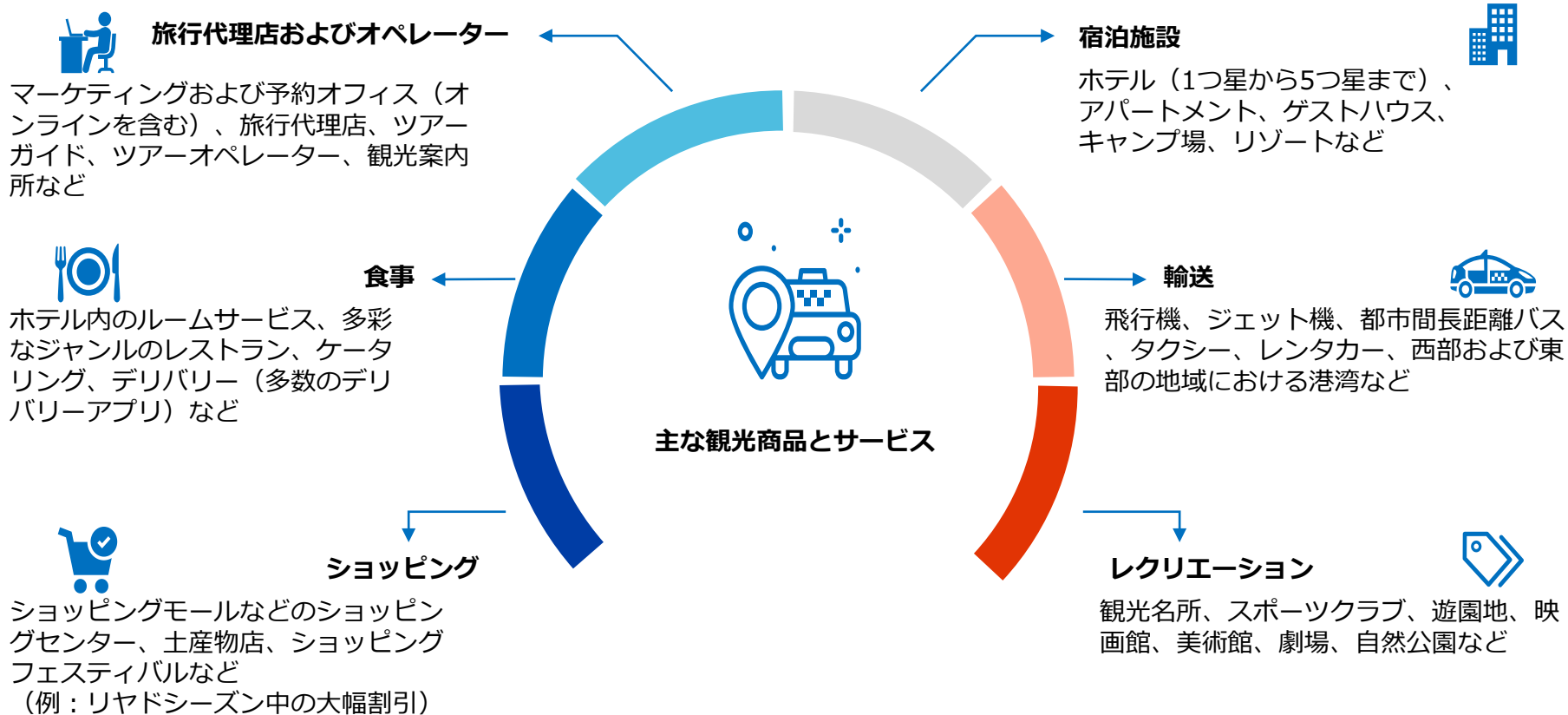
(出所) 観光省、GEA、DGDA、RCU、RSDC、GSTAT

(1) 経済開発評議会

(1) | サウジアラビアの観光産業

主な観光商品とサービス

- 充実した満足のいく滞在経験を提供するために、様々な種類のサービスや商品を用意している。



（出所）観光省、トリップアドバイザー

(1) | サウジアラビアの観光産業

COVID-19（新型コロナウイルス）が及ぼす影響

- 今回の感染症の流行で、サウジアラビアの観光業も大きな影響を受けており、2020年末までに35~45%市場が縮小するとみられている。しかし、サウジアラビアは国内観光業の活性化を目指して、様々な対策に乗り出している。



COVID-19の流行の影響

- 感染症の流行に起因する景気後退は、主に航空およびホテル部門を中心とした観光セクターに甚大な影響を及ぼした
- 国際線乗客数の減少は2,600万人と推定されている
- 感染症の流行は観光セクターの約20万人分の雇用に影響を与えているとみられる
- 観光セクターは2020年末までに35~45%市場縮小すると見込まれている
- いまだに渡航などが制限されているが、サウジアラビアは2021年までに観光ビザを再開する予定



コロナ禍におけるサウジアラビアの対策

- コロナ禍における経済対策として1,200億SARの予算を計上し、様々な取り組みを開始した
- 民間セクターで働くサウジアラビア人を対象とした予算90億SARの給与支援策も発表されており、これには観光セクターを対象とした支援も含まれている
- 観光施設間で利益を付け替え損失を相殺するAjeerプログラムが始動
- 観光や自治体に関連する手数料等の引き下げ
- ホテルは「the return of the citizen」の取り組みを通じて5万人以上の帰国者を受け入れており、1~2週間の期間にわたって13,000以上のホテルの客室が利用された
- 地方観光の刺激策として、全国の10の観光地を対象としたPRプロジェクト「サウジ・サマー・シーズン」を開始

(出所) 観光省、アルアラビーヤのウェブサイト

目次

1. 市場概況

- (1) サウジアラビアの観光産業
- (2) 主要な観光統計
- (3) 主な観光名所とイベント

2. 市場参入情報

- (1) 市場セグメントの分析
- (2) 市場参入モデル
- (3) 市場参入の規制と優遇措置

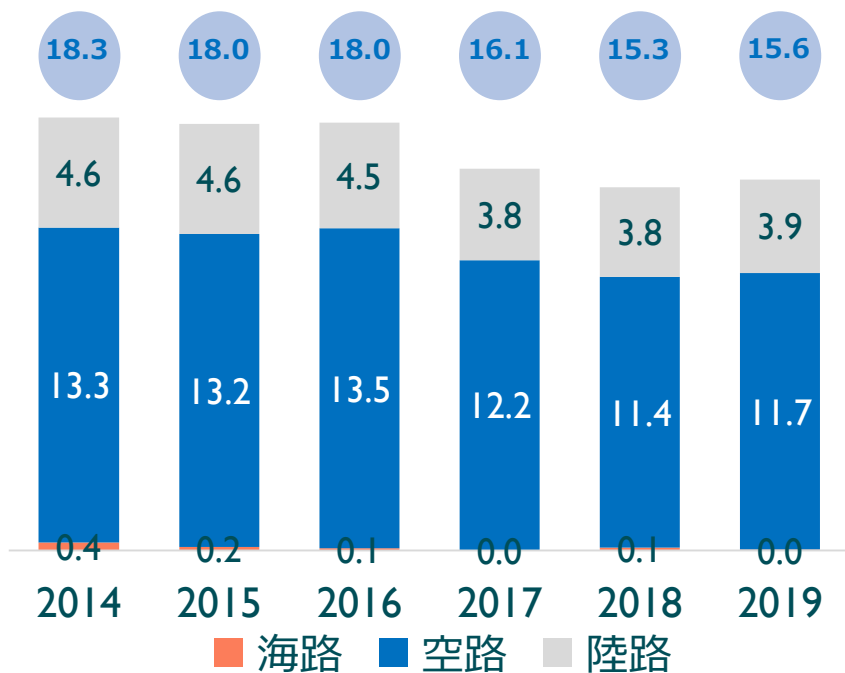
(2) | 主要な観光統計

インバウンド観光

- サウジアラビアのインバウンド旅行は、主に中東情勢の不安定化により2014年から2018年にかけて減少したが、昨年から外国人訪問者数が増加に転じている。

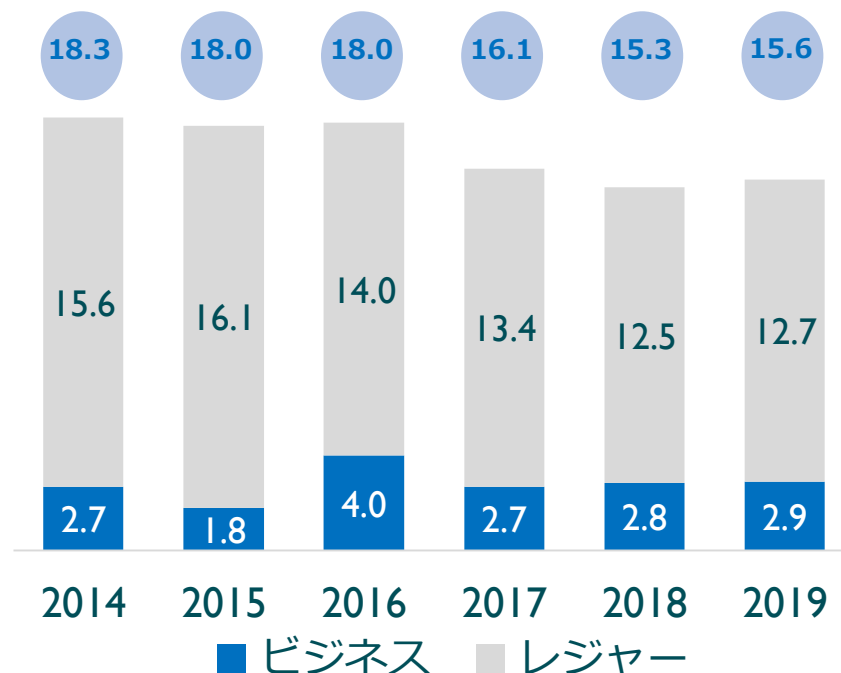
2014年～2019年の交通手段別インバウンド訪問

(単位：100万回)



2014年～2019年の目的別インバウンド訪問

(単位：100万回)



(出所) 観光省、アルアラビヤのウェブサイト

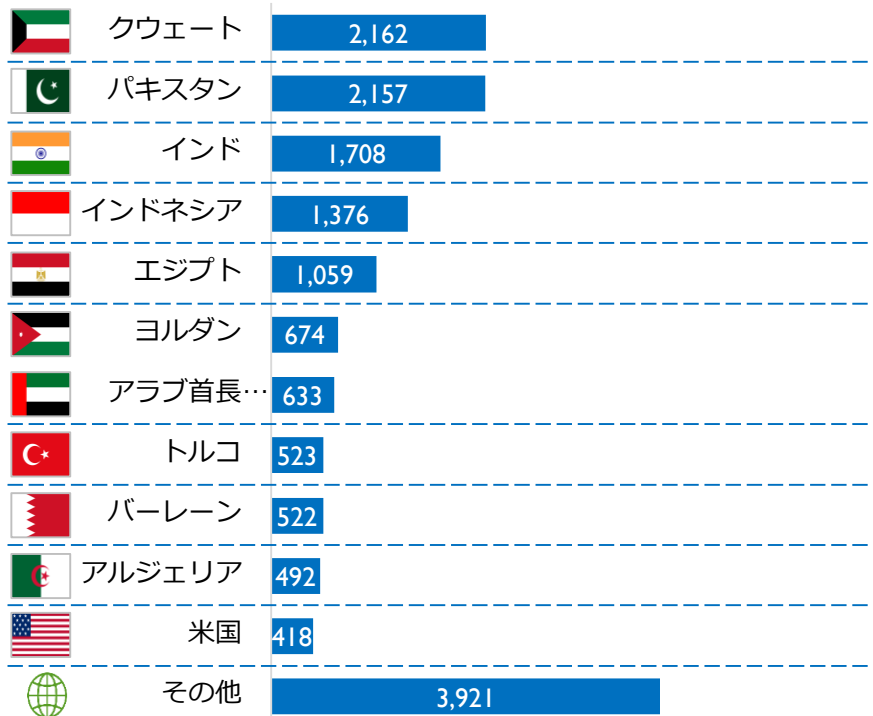
(2) | 主要な観光統計

インバウンド観光

- インバウンドを国別で見ると、上位10カ国が総訪問者数のほぼ72%を占めている。インバウンド観光客の支出分野はレジャーと宿泊施設が上位となっている（2019年の総支出の約58%）。

国別訪問者数の上位国 – 2019年のインバウンド訪問

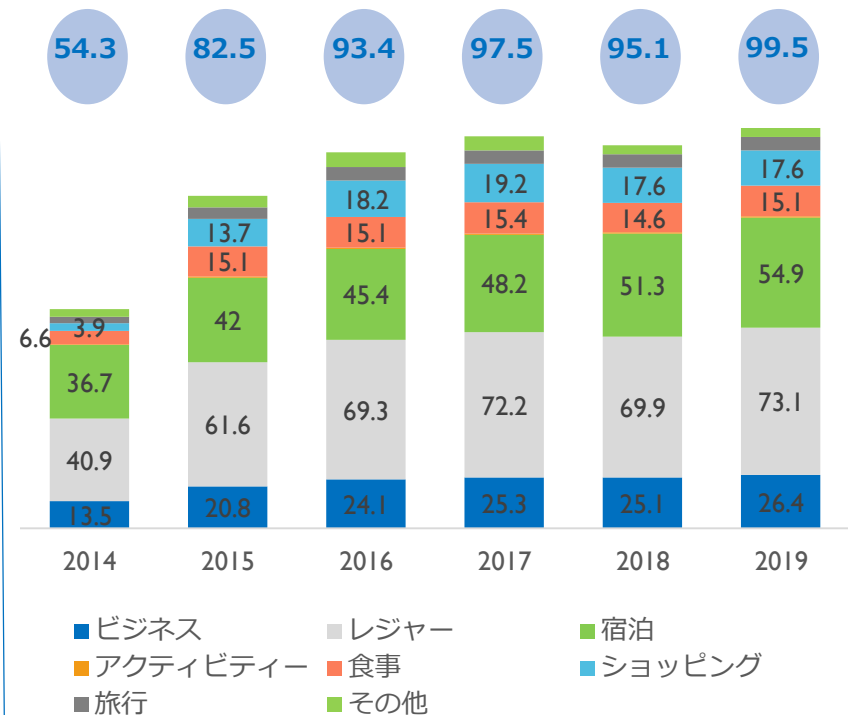
(単位：1,000回)



(出所) ユーロモニターインターナショナル2019年9月のデータ

2014年～2019年のインバウンドの観光収入

(単位：10億SAR)



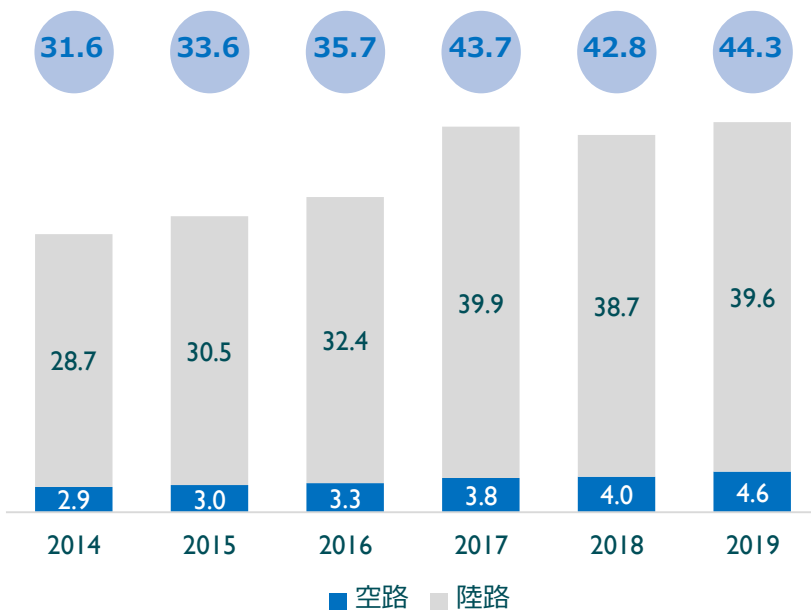
(2) | 主要な観光統計

国内観光

- サウジアラビアの国内観光はここ数年で目覚ましい成長を遂げており、2014年から2019年の年平均成長率（CAGR）は7%に到達している。

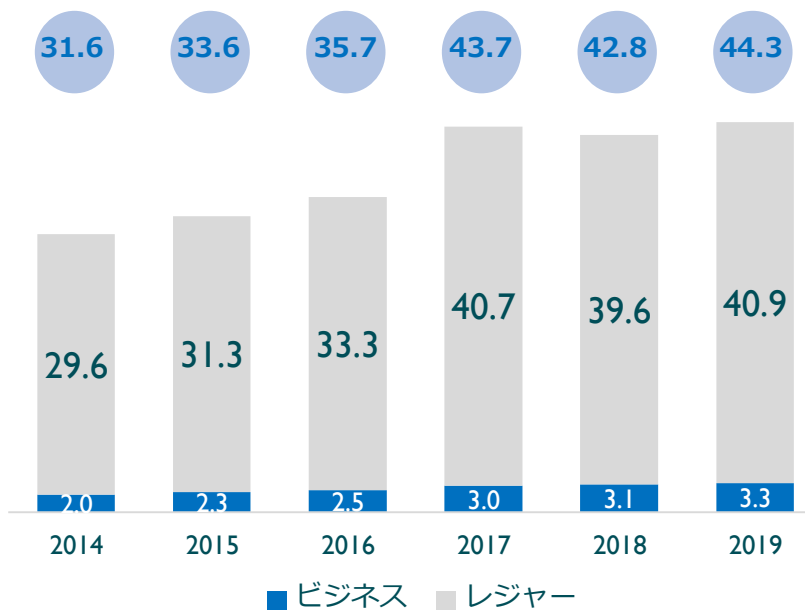
2014年～2019年の交通手段別国内旅行

(単位：100万回)



2014年～2019年の目的別国内旅行

(単位：100万回)



(出所) ユーロモニターインターナショナル2019年9月のデータ

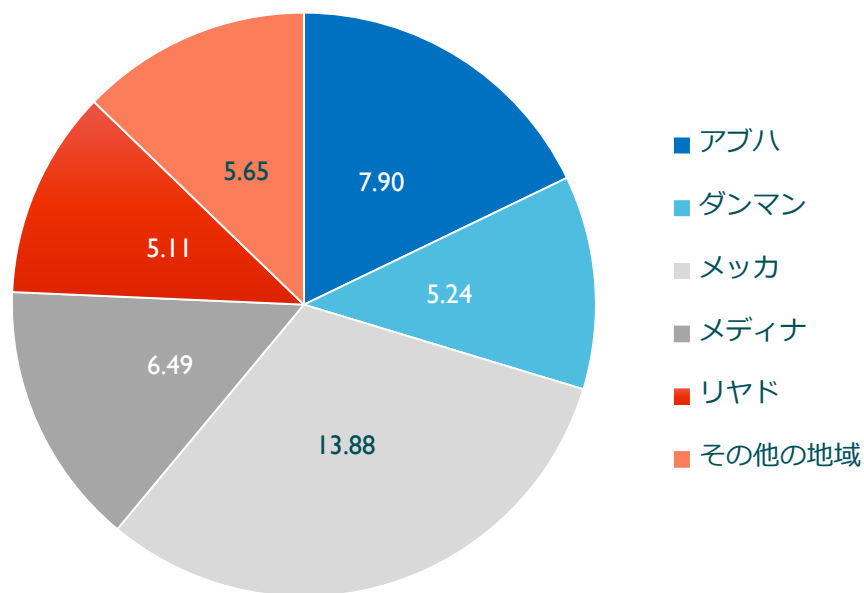
(2) | 主要な観光統計

国内観光

- 依然としてサウジアラビア全体では、聖地であるメッカ地域の訪問者数が最も多く、国内旅行全体の約3分の1を占めている。一方で、国内旅行の支出額は年平均41%のペースで大幅に増加している。

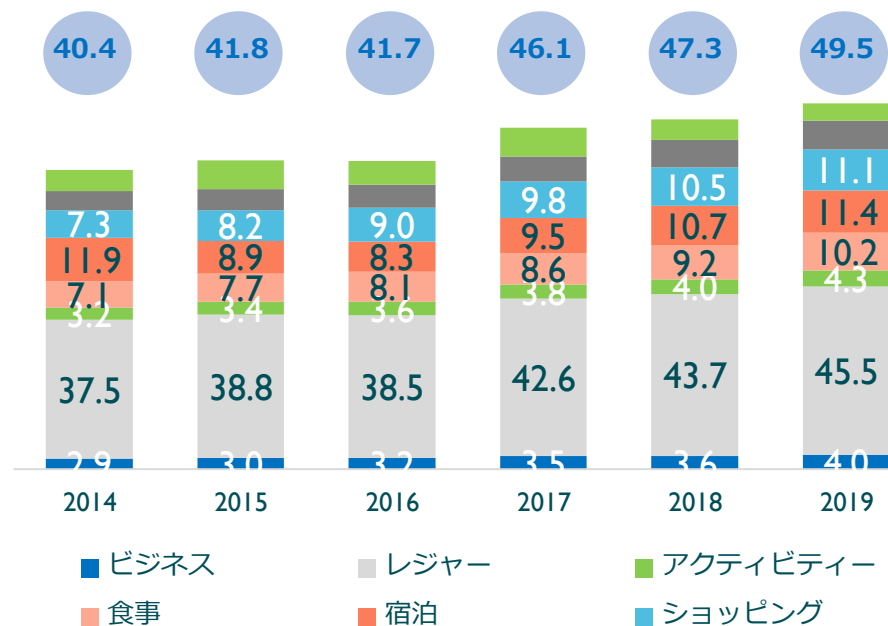
2019年の目的地別国内旅行

(単位：100万回)



2014年～2019年の国内旅行の支出内訳

(単位：10億SAR)



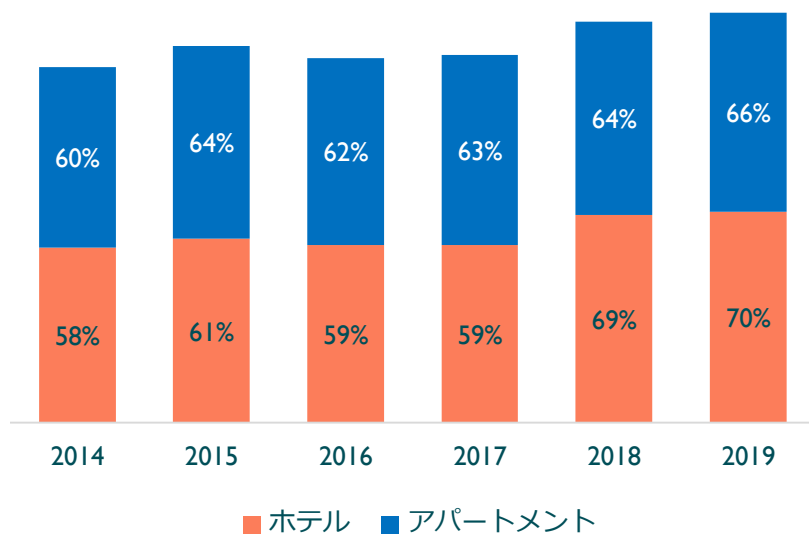
(出所) ユーロモニターインターナショナル2019年9月のデータ

(2) | 主要な観光統計

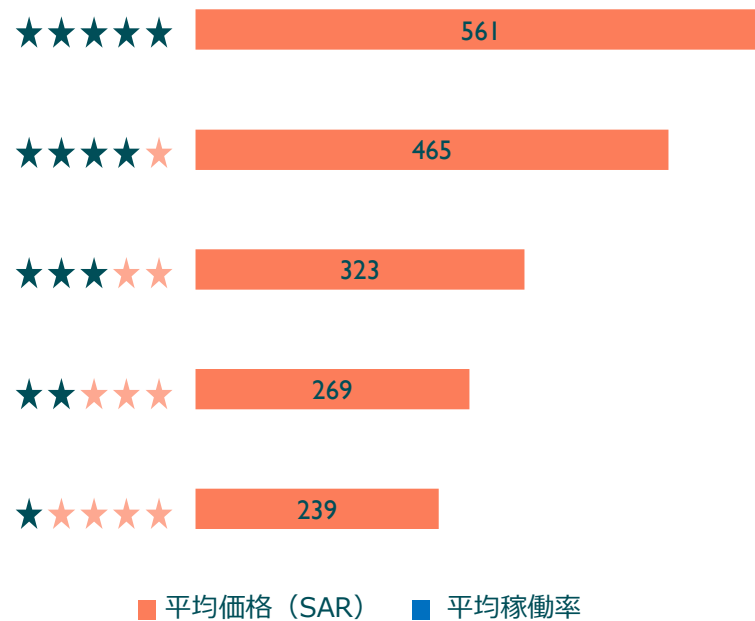
宿泊統計

- 国内旅行の成長に牽引され、ホテルの稼働率は2019年に70%に達している。5つ星ホテルが最も高い稼働率を記録している。

2014年～2019年の
ホテルおよびアパートメントの稼働率



2019年の
宿泊グレードごとの平均稼働率と料金



(出所) MASダッシュボード

目次

1. 市場概況

- (1) サウジアラビアの観光産業
- (2) 主要な観光統計
- (3) 主な観光名所とイベント

2. 市場参入情報

- (1) 市場セグメントの分析
- (2) 市場参入モデル
- (3) 市場参入の規制と優遇措置

(3) | 主な観光名所とイベント

主要な観光名所 ①

- サウジアラビアには本格的な体験を提供できるポテンシャルの高い多彩な観光サイトがある。

景勝・自然	歴史・文化	宗教関連	アドベンチャー
<ul style="list-style-type: none"> ● アハサー・オアシス ● ファラサン諸島の保護区 ● ウルク・バニ・マアリド保護区 ● アスファー湖 ● アルフィール山 ● アルガート国立公園 	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘグラ（マダイン・サーレハ） ● 岩絵（ハーイル地方） ● ジェッダ旧市街 ● 歴史的な街ディルイーヤ ● ジーアイン遺跡村 ● ドゥーマット・アル・ジャンダル ● リジャール・アルマー村 ● ヒマ井戸 ● アルファウ古代村落 ● ヒジャーズ鉄道 ● ダルブ・ズバイダ ● エジプトのメッカ巡礼路 ● シリアのメッカ巡礼路 ● シャクラとウシャイカー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 聖モスク ● 預言者ムハンマドのモスク ● 二聖モスク博物館 ● ジャバルアルヌール ● タニームモスク ● アラファト山 ● ジャンナトウル・ムアッラー墓地 	<ul style="list-style-type: none"> ● 紅海沿岸 ● エッジオブザワールド ● ヒート洞窟 ● ルブアルハリ砂漠 ● アマーラ島 ● アルノバラ

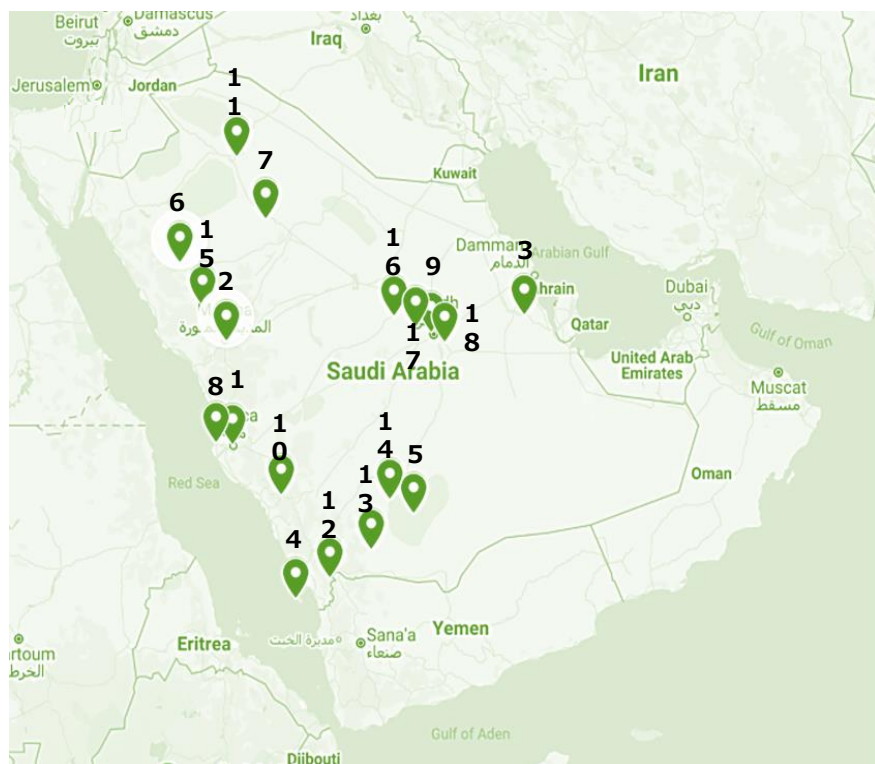
● UNESCO世界遺産登録済 ● UNESCO世界遺産登録申請中 ● その他

(出所) SCTH「サウジアラビア観光・国家遺産委員会」、トリップアドバイザー

(3) | 主な観光名所とイベント

主要な観光名所 ②

- サウジアラビアには本格的な体験を提供できるポテンシャルの高い多彩な観光サイトがある。



1. 聖モスク



2. 預言者のモスク



3. アハサー・オアシス



4. ファラサン諸島



5. ウルク・バニ・マアリド保護区



6. マダイン・サーレハ



7. ジュッパの岩絵



8. ジェッダ旧市街



9. デイルイーヤ



10. アイン古代村落



11. ドゥーマット・アル・ジャンダル



12. ジーアイン遺跡村



13. ヒマ井戸



14. リジャール・アルマー村



15. ヒジャーズ鉄道



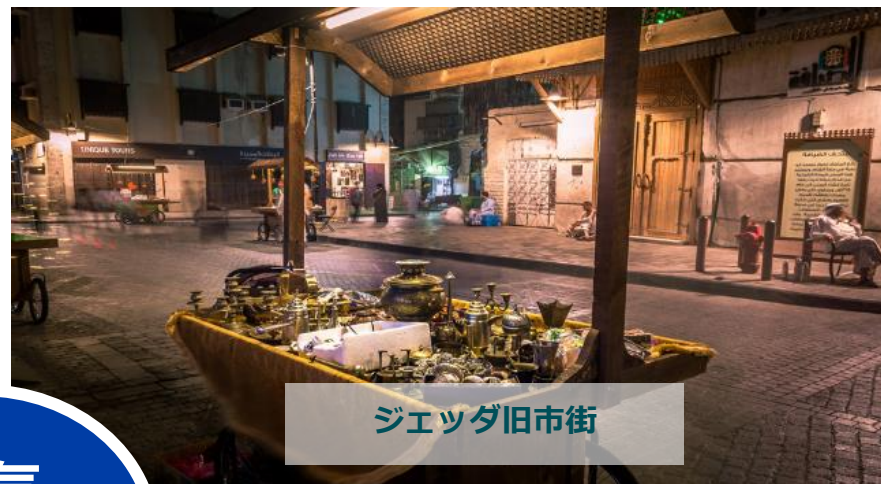
16. シャクラとウシャイカ



17. エッジオブザワールド



18. ヒート洞窟



人気
サイト





人気
サイト





エジプトの世界



ヒート洞窟

人気
サイト



シャクラとウシャイカー

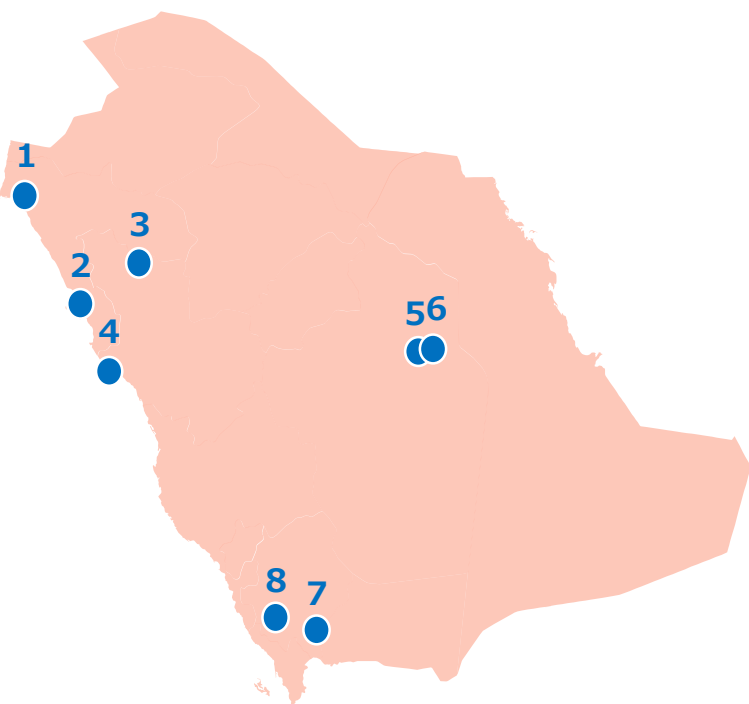


紅海

(3) | 主な観光名所とイベント

メガプロジェクト

- サウジアラビアは現在、地方の観光インフラを大幅に強化するメガプロジェクトを展開している。



	プロジェクト名	戸数 ¹	Capex予定額 (SAR) ²	開始予定
①	NEOM	35,000	860億	2021
②	アマーラ	2,500	500億	2021
③	アルウラ	5,500	未定	2021
④	紅海	7,900	820億	2022
⑤	キディヤ	1,400	未定	未定
⑥	ディルイーヤ 門	1,300	510億	未定
⑦	サルワン	11,800	未定	2022
⑧	アルスーダ	2,500	未定	2022

(1) 2030年までに予測される戸数

(2) 2030年までの累積設備投資

(3) | 主な観光名所とイベント

主要なイベント

- サウジアラビアは全土で様々な観光イベントを支援・実施し、国内およびインバウンド観光を振興している。

文化イベント	スポーツ・アドベンチャーイベント	季節・娯楽イベント
<ul style="list-style-type: none"> ● ジャナドリヤ祭 ● スークオカズ ● 歴史あるジェッダ・フェスティバル ● ウィンター・アット・タントラ ● カスィーム・ドイツ祭り ● 紅海国際映画祭 ● タイフ・バラ祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ● ハーイル・国際ラリー ● アブドウル・アズィーズ王鷹狩祭 ● フォーミュラE ● アブドウルアズィーズ国王のラクダレース・フェスティバル ● デイルイーヤ馬術フェスティバル 	<ul style="list-style-type: none"> ● リヤド・シーズン ● ジェッダ・シーズン ● ジェッダ・シーズン ● Middle Beast ● タイフ・シーズン ● ナショナル・デイ・シーズン ● デイルイーヤ・シーズン ● ラマダン・シーズン



人気
イベント



(出所) Arabsstock、Shutterstockのウェブサイトより購入して掲載



歴史あるジェッタ・フェスティバル



カスィーム・デーツ祭り

人気
イベント



ラクダレース・フェスティバル



フォーミュラE

(出所) Arabsstock、Shutterstockのウェブサイトより購入して掲載

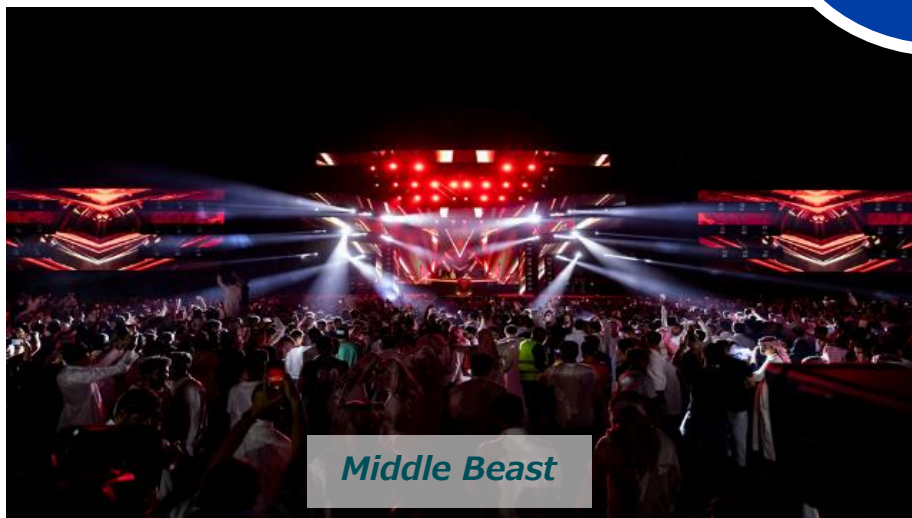


リヤド・シーズン



ジェッダ・シーズン

人気
イベント



Middle Beast



ディルイーヤ・シーズン

(出所) Arabsstock、Shutterstockのウェブサイトより購入して掲載

目次

1. 市場概況

- (1) サウジアラビアの観光産業
- (2) 主要な観光統計
- (3) 主な観光名所とイベント

2. 市場参入情報

- (1) 市場セグメントの分析
- (2) 市場参入モデル
- (3) 市場参入の規制と優遇措置

(1) 市場セグメントの分析

サービスセグメント - 宿泊施設

- 旅行業の今後の有望な見通しと、新たな投資機会を生み出しているメガプロジェクトの導入により、サウジアラビアのホスピタリティセクターは大幅に成長するとみられている。

バリューチェーン

業界構造	説明	大手	重要事項
ゲートキーパー	<ul style="list-style-type: none"> 旅行/予約プラットフォーム 旅行代理店 ツアーオペレーターなど 	<ul style="list-style-type: none"> Booking.com Almosafer エクスペディア Attar Travel Danata Travel Alfahhad 	<ul style="list-style-type: none"> 2019年のサウジアラビアのホスピタリティの市場規模は全体で180億米ドルと推定されている デロイトは、ホスピタリティ市場の長期的な見通しは引き続き明るいとしている
フランチャイザー	<ul style="list-style-type: none"> ホテルフランチャイズグループ 国際的および国内のホテルブランドなど 	<ul style="list-style-type: none"> マリオット ヒルトン モーベンピック アコー ホリデイイン ハイアット 	<ul style="list-style-type: none"> 2019年のホテルの平均稼働率は70%に到達 多くの定評ある国際的ブランドが、大手ホスピタリティ企業との間で戦略的パートナーシッププログラムを締結
オペレーター	<ul style="list-style-type: none"> ホスピタリティ管理会社など 	<ul style="list-style-type: none"> Dur Hospitality Alkhozama ナイトフランク スイスホスピタリティ Elbadr Group 	<ul style="list-style-type: none"> サウジアラビアは、観光客数を2018年の基準値の5,800万人から2030年までに1億人に増やすことを計画している
不動産開発業者	<ul style="list-style-type: none"> ホテルの建物所有者 不動産開発業者など 	<ul style="list-style-type: none"> SEDCO Holding Asyad Awan Company Al Hokair Group HAKAグループ Dur Hospitality Company Seera Omar Alesayi Group 	<ul style="list-style-type: none"> 紅海開発やNEOMなどのメガプロジェクトを開始し、投資機会の拡大に重点的に取り組んでいる

(出所) 観光省、ユーロモニター、モルドールインテリジェンス、デロイト

(1) 市場セグメントの分析

サービスセグメント – 食品・飲料

- 長期的にはサウジアラビアの観光セクターの急速な変革は、F&Bのコンセプトやビジネスモデルの面で、外食サービスの方向性に大きな影響を与えると予想されるが、競争は依然として厳しいままである。

バリューチェーン

業界構造	説明	大手	重要事項
ゲートキーパー	<ul style="list-style-type: none"> ・ フードデリバリーアプリ ・ アーティファクトのウェブサイトなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ HungerStation ・ Talabat ・ Jahez ・ Mrsool ・ Souvenirs ・ Tethkar 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2018年のフードサービスの市場規模は全体で700億米ドルと推定され、2023年まで6%の割合で成長すると予測されている ・ そのうち観光セクターのフードサービスは5～10%の範囲内と推定¹されているため、35億～70億米ドルとなる
小売業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ レストラン ・ 土産物店 ・ 手作り食品プロバイダーなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Albaik ・ バーガーキング ・ KFC ・ スターバックス ・ ティムホートンズ ・ ピンクベリー ・ マクドナルド ・ ドミノ・ピザ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場は非常に細分化されており、国際的なフランチャイズ店やチェーン店のほか、独立した食品・飲料プロバイダーが存在している ・ サウジアラビア初の料理学校がいくつかの都市で開校予定
卸売業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大量市場のアグリゲーターなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Gulf Catering Co. ・ Supreme foods ・ processing Co. ・ ASTRA food Co. ・ Savola ・ Saudi Catering & Contracting Co. ・ Arabian food Supplies ・ ユナイテッド・トレーディング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンターテインメントセクターへの投資計画が、サウジアラビアの今後の食品・飲料コンセプトの質と多様性などの方向性を左右するだろう ・ 最近、輸入品の関税を10%に引き上げており、国内のフードサービス産業がさらに勢いづくと思われる
サプライヤー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品・飲料加工業者 ・ 土産品メーカー ・ 職人など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Sunbulah Group ・ アルマライ ・ Al Rabie ・ ARASCO ・ Gulf Union foods ・ Saleh & Abdulaziz Abahsin Co. ・ サウジ・フィッシャーリーズ 	

(出所) Saudi Horeca、Argaam

(1) 訪問者5,800万人、フードサービスあたりの1日の平均支出額60～120米ドルとして算出

(1) 市場セグメントの分析

サービスセグメント – 旅行代理店

- オンライン旅行会社（OTA）は増加傾向にあり、シェアを拡大するとみられている。旅行代理店セグメントは全体として、観光産業の見通しと観光セクターの促進に対する国の野心的な目標を考慮すると、有望に見える。

	業界構造	説明	大手	重要事項
バリューチェーン	ゲートキーパー	<ul style="list-style-type: none"> 予約ウェブサイト/OTA メタ検索プラットフォーム 予約オフィス/コールセンターなど 	<ul style="list-style-type: none"> アゴダ エクスペディア Saudi Holidays Wego Almusafer トリップアドバイザー トラベロシティ 	<ul style="list-style-type: none"> サウジアラビアの旅行予約市場は250億米ドル規模であり、サウジアラビアの最近の開放的姿勢と観光振興への取り組みを踏まえ、成長が見込まれている オンライン予約プラットフォームが台頭しており、2018年にはOTAがオンラインのシェアを14%に増やした一方で、オンライン購入の割合は総収益の30%を占めている
	小売業者	<ul style="list-style-type: none"> 旅行代理店 ツアーオペレーター 観光事務所など 	<ul style="list-style-type: none"> Attar Travel Dnata Travel AlFahhad Flyin Seera Zamil Travel & Holiday Kanoo Travel 	<ul style="list-style-type: none"> OTAの市場浸透率は、2021年末までに39%に上昇すると予想されている
	卸売業者	<ul style="list-style-type: none"> 大量市場のアグリゲーターなど 	<ul style="list-style-type: none"> Mawasim AlTayyar Gate tours Arabjet Tboholidays.com 	<ul style="list-style-type: none"> 調査によると、サウジアラビアの旅行者の40%以上がオンラインで旅行を計画しており、45%は旅行代理店よりもオンラインを利用する傾向にある
	サービスプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設 アトラクション 輸送など 	<ul style="list-style-type: none"> マリオット モーベンピック ヒルトン サウディア航空 Saptco 	<ul style="list-style-type: none"> 市場の集中度合いはかなり高く、オンライン市場はAlmosaferとBooking.comが独占しており、実店舗市場はAttarとSeeraグループがリードしている 全体的な観光戦略の一環として政府が力強く後押ししている

(出所) Saudi Horeca、Saudi Gazette、2018年中東消費者旅行レポート

(1) 市場セグメントの分析

サービスセグメント - 文化

- 文化観光はサウジアラビアの観光戦略における強力な柱であり、他にはない豊かな文化と遺産を武器に、成長を大きくけん引している。政府は文化観光セグメントへの外国投資を強く呼びかけている。

業界構造	説明	大手	重要事項
ゲートキーパー	<ul style="list-style-type: none"> チケット販売サイト 予約オフィス/コールセンターなど 	<ul style="list-style-type: none"> アゴダ エクスペディア Saudi Holidays Wego Almusafer 	<ul style="list-style-type: none"> 2018年の世界の文化観光支出額は3,300億米ドルと推定されており、「Sun and Sea（海や砂浜）」に次いで2番目に高い観光カテゴリーとなっている 2019年のサウジアラビアの文化観光は、総観光収入（1,500億SAR）の10%¹に貢献すると予想されている サウジアラビアの最近の開放的姿勢と政府による文化観光の重視を踏まえた高い成長見通し 世界的な調査によると、文化観光を検討している人のうち25~30%がサウジ訪問に前向きであった 文化観光への投資プログラムを開始したSCTHからの高い支持。プログラムには、遺産、美術館、文化センター、文化イベントなどの開発が含まれている
小売業者	<ul style="list-style-type: none"> 旅行代理店 ツアーオペレーター 観光事務所など 	<ul style="list-style-type: none"> Attar Travel Dnata Travel AlFahhad Flyin 	
卸売業者	<ul style="list-style-type: none"> 大量市場のアグリゲーターなど 	<ul style="list-style-type: none"> AlTayyar Gate tours Arabjet Tboholidays.com 	
サービスプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> メガプロジェクト 史跡 美術館/アートギャラリーなど 	<ul style="list-style-type: none"> アルウラ王立委員会 ディルイーヤ門開発局 NEOM Ithra スークオカズ 	

バリューチェーン

(出所) ユーロモニター、UNWTO、観光省

(1) DRCが2018年の世界的基準値（16%）に基づき、市場規模から宗教ツーリズムを除外して算出

(1) 市場セグメントの分析

サービスセグメント - エンターテインメント

- サウジアラビアはエンターテインメント観光に大規模な投資を行っているため、新たな観光客を引き付け、観光のGDP貢献を高めることが広く期待されている。外国人投資家にとっては非常に魅力的といえる。

業界構造	説明	大手	重要事項
ゲートキーパー	<ul style="list-style-type: none"> チケット販売サイト 予約オフィス/コールセンターなど 	<ul style="list-style-type: none"> アゴダ エキスペディア Saudi Holidays Almusafer Event Box トリップアドバイザー Platinum List 	<ul style="list-style-type: none"> サウジアラビアの2018年のレジャー旅行への支出¹は約56億米ドルであり、そのうち80%が国内旅行だった 2019年のエンターテインメント目的の外国人旅行者は約5,000人と推測されている（依然として非常にニッチ）
小売業者	<ul style="list-style-type: none"> 旅行代理店 ツアーオペレーター 観光事務所など 	<ul style="list-style-type: none"> Attar Travel Dnata Travel AlFahhad Flyin Seera Zamil Travel & Holiday Kanoo Travel 	<ul style="list-style-type: none"> 高成長セグメントは2018年から2030年にかけて年6%で成長するとみられている テーマ型アトラクションやライブイベントに向かう傾向が強い
卸売業者	<ul style="list-style-type: none"> 大量市場のアグリゲーターなど 	<ul style="list-style-type: none"> AlTayyar Gate tours Arabjet Tboholidays.com. Saudi Catering & Contracting Co. Arabian food Supplies ユナイテッド・トレーディング 	<ul style="list-style-type: none"> サウジアラビア政府はビジョン2030の下で、エンターテインメントセクターを育成するという強い姿勢を崩しておらず、GEA²、GSA³、その他娯楽関連企業を活用している
サービスプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> メガプロジェクト テーマパーク/動物園 スポーツ施設など 	<ul style="list-style-type: none"> キディヤ 紅海開発会社 リヤド・シーズン ジェッタ・シーズン NEOM AMC 	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な娯楽拠点になるとみられる敷地面積334Km²の「キディヤ・プロジェクト」の開始など、2018年から2030年にかけて年間180億SARの投資が計画されている

(出所) Invest Saudi、モルドールインテリジェンス

(1) 2018年のフォーミュラEイベントを踏まえ、5つの主要なイベントにそれぞれ約1,000人の外国人観光客が参加したとして算出

(2) 娯楽庁、(3) スポーツ庁

(1) 市場セグメントの分析

サービスセグメント – 輸送

- サウジアラビアは、すでに空港や高速鉄道などの輸送インフラ建設に多額の投資を行っている。よって、インフラに関する政府のギガプロジェクトにも投資機会が生じている。

業界構造	説明	大手	重要事項
ゲートキーパー	<ul style="list-style-type: none"> 予約サイト メタ検索プラットフォーム 予約オフィス/コールセンターなど 	<ul style="list-style-type: none"> Booking.com Expedia カヤック RentalCars.com Rent cars Priceline.com 	<ul style="list-style-type: none"> 2020年までの運輸部門全体の市場規模は185億米ドル 2030年までに年間12%成長を目指す計画 観光輸送の市場は非常に細分化されているが、公共交通機関は政府系企業のSAPTCOが運営している
小売業者	<ul style="list-style-type: none"> 旅行代理店 ツアーオペレーター 観光事務所など 	<ul style="list-style-type: none"> Attar Travel Dnata Travel AlFahhad Flyin Seera Zamil Travel & Holiday Kanoo Travel 	<ul style="list-style-type: none"> 政府は運輸部門の開発に惜しみない支援を提供しており、2018年のインフラおよび運輸の予算配分は86%増の140億米ドルとなっている パイプラインの5つの新空港に加え、ジェッダ、リヤド、その他の17の空港への主要な拡張も進行中
サービスプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> 航空会社 レンタカー会社 タクシー会社 都市間長距離バス会社など 	<ul style="list-style-type: none"> サウディア Flynas ウーバー Careem Sapco Budget 	<ul style="list-style-type: none"> メッカとメディナを結ぶハラマイン高速鉄道プロジェクトも進行。投資額は150億米ドル
サプライヤー/イネイabler	<ul style="list-style-type: none"> 規制当局 資金提供者 飛行機/自動車サプライヤーなど 	<ul style="list-style-type: none"> 運輸省 財務省 公共交通局 民間航空庁 トヨタ、ヒュンダイ ボーイング、エアバス 	





バリューチェーン

(出所) Invest Saudi、モルドールインテリジェンス、アラブニュース、オックスフォード・ビジネス・グループ

(1) 市場セグメントの分析

各サービスセグメントの魅力

- 日本の投資家のための各サービスセグメントの魅力度調査の結果

サービスセグメント	市場規模	市場成長	競争	政府の支援	全体的な魅力
1.1 宿泊サービス					
1.2 食品/飲料/土産品サービス					
1.3 旅行代理店サービス					
1.4 文化サービス					
1.5 エンターテインメントサービス					
1.6 輸送サービス					

好ましくない



やや好ましい



非常に好ましい



(1) 市場セグメントの分析

テクノロジーセグメント - AR / VR

- AR/VR（拡張現実・仮想現実）観光は高成長セグメントであり、外国人投資家にとっては、特にソフトウェアのサブセグメントに大きな投資機会がある（例：バーチャルツアー、バーチャル美術館など）。

業界構造	説明	大手	重要事項	
配給・販売業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ eコマースプラットフォーム ・ 小売業者など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Extra ・ アマゾン ・ X-Cite ・ Noon ・ Jarir Bookstore 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Play ・ Apple Store 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界のAR/VR市場は2020年までに190億米ドルになるとみられており、CAGRは2019年から2023年の間に77%に到達すると予測されている ・ サウジアラビアのAR/VR市場¹は2020年に3億5000万米ドルになると推定され、2030年までには約70億米ドルの貢献が見込まれている
アプリケーションおよびコンテンツプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 垂直アプリケーションとコンテンツ（例：ゲーム、教育、医療など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bigitec ・ Visual Experience ・ Golden Logic 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Dolg Technologies ・ Off the Grind ・ Juego 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査によると、バーチャルリアリティを体験した31%の客が店舗で旅行を予約している
デバイスプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ HMD（ヘッドマウントディスプレイ） ・ コントローラー ・ AR/VR対応デバイスなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Oculus ・ HTC ・ ソニー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サムスン ・ レノボ ・ HP 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さらに、ユーザー全体の40%が旅行や観光でVRを活用し、33%が美術館やバーチャルツアーで活用するとみられている
プラットフォームプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発者ポータル ・ API ・ SDK（ソフトウェア開発キット）/アルゴリズムなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ARKit ・ ARCore ・ Vuforia 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Maxst ・ Wikititude ・ Kudan 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソフトウェアセグメントはまだニッチな初期段階にあり、市場のハードウェアセグメントは世界的プレーヤーが独占している
接続プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ AR/VR読み取りネットワーク ・ CDN（コンテンツ配信ネットワーク） ・ 品質管理など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ STC ・ Mobily ・ Zain 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Integrated Telecom ・ ヴァージン・モバイル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近、サウジアラビアでは新世代のVRアプリが発表されている（例：仮想の巡礼者体験、サウディアの仮想ラウンジ）

（出所） IDC、Goodfirms、PWC、アラブニュース、Code-Brew

（1） PWCのアラブ首長国連邦の値を代用し、GDP比率を使用してサウジアラビアの数値を概算で算出

(1) 市場セグメントの分析

テクノロジーセグメント - スマートツーリズムアプリ

- スマートツーリズムアプリは競争が非常に激しく、また世界的プレーヤーが独占しているために、参入障壁が高い。ただし、政府はデジタル化に本腰を入れている。

業界構造	説明	大手	重要事項
アプリケーション および コンテンツプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> 垂直アプリケーションおよびコンテンツプロバイダー（例：予約、情報など） 	<ul style="list-style-type: none"> Booking.com トリップアドバイザー エキスペディア Welcome to Saudi Arabia 	<ul style="list-style-type: none"> 2018年のサウジアラビアのモバイルアプリ市場規模は全体で56億SARとされており、年間の平均成長率は12% 観光スマートアプリセグメントは2020年までに2億1000万米ドルになると推定されている¹
ソリューション プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> アプリソフトウェア会社 アプリオペレーターなど 	<ul style="list-style-type: none"> Golden Logic Zifra Intellias Ibitikar 	<ul style="list-style-type: none"> 観光アプリ分野はBooking.com、トリップアドバイザー、エアビーアンドビー、エキスペディアなどの世界的な大手プレーヤーが独占している
プラットフォーム プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> 開発者ポータル API SDK（ソフトウェア開発キット）／アルゴリズムなど 	<ul style="list-style-type: none"> Android Ios Ionic Swing 	<ul style="list-style-type: none"> 2018年にサウジアラビアのモバイルブロードバンドの普及率は90%に達しており、スマートフォンとインターネットの普及率はそれぞれ97%と93%となっている
デバイス プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン／タブレットプロバイダーなど 	<ul style="list-style-type: none"> サムスン アップル ファーウェイ Vivo 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンユーザーの半数が34歳未満 サウジアラビア政府はデジタル化に本腰を入れており、すべての政府機関のサービスのデジタル化をサポートするeガバメント・プログラム（Yesser）を立ち上げている
接続プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> モバイル／データネットワーク CDN（コンテンツ配信ネットワーク） 品質管理など 	<ul style="list-style-type: none"> STC Mobily Zain 	<ul style="list-style-type: none"> Integrated Telecom ヴァージン・モバイル

(出所) MarketLine、観光省、CITC、MCIT

(1) 観光セクターのGDP寄与度3%、年間成長率12%から算出

(1) | 市場セグメントの分析

テクノロジーセグメント – Webデザイン

- 政府はデジタル化に本腰を入れているが、ウェブデザイン・開発の市場は非常に細分化されており、また競争が非常に激しい。

業界構造	説明	大手	重要事項
配給業者/広告主	<ul style="list-style-type: none"> SEO/オンライン広告代理店 デジタルマーケターなど 	<ul style="list-style-type: none"> Solutel WSI Pixel Solution Dot Adox Digital Cloud 	<ul style="list-style-type: none"> 世界のウェブデザインサービスの市場価値は、2018年には1,530億米ドルと推定されており、2014年以降のCAGRは12% サウジアラビアの市場規模は全体で推定17億米ドルであり¹、そのうち観光セクターのシェア²は6,600万米ドルと推定されている サウジアラビアの主要な市場ドライバーには、拡大するテクノロジー採用とインターネットおよびブロードバンドの高い普及率などがある 国内市場は非常に細分化されており、特にヨルダンとインドを中心とした海外勢と競合している 前述のようにサウジアラビア政府はデジタル化に本腰を入れており、ウェブデザインおよび開発には追い風となっている
ソリューション プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> Web開発代理店 ウェブデザイン代理店など 	<ul style="list-style-type: none"> Intellias Ertekaz DMA Nilecode Afaqy iCrossing 	
プラットフォーム プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> テクノロジーイネイブラー API/SDK/電子決済など Webホスティングプラットフォームなど 	<ul style="list-style-type: none"> Wordpress Big Commerce React Asp.net Angularis HostGator 	
デバイス プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> PC/ノートパソコン/スマートフォンプロバイダーなど 	<ul style="list-style-type: none"> HP レノボ デル エイサー エイスペース ファーウェイ アップル 	
接続プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> ISP (インターネットサービスプロバイダー) モバイル/データネットワーク その他 	<ul style="list-style-type: none"> STC Mobily Zain Integrated Telecom Bayanat ISP ME Internet Group Nour Com 	

(出所) マーケットウォッチ、ビジネスリサーチカンパニー

(1) 世界のGDPに占めるサウジアラビアのシェアから算出、²観光セクターのGDP寄与度3%、年間成長率12%から算出

(1) 市場セグメントの分析

テクノロジーセグメント - デジタルチケット販売

- サウジアラビアではデジタルチケット販売はかなり大きな市場である。観光・娯楽分野が急速に拡大しているため、イベントやアトラクションのデジタルチケット販売に関連して投資機会が生じている。

業界構造	説明	大手	重要事項
配給業者/広告主	<ul style="list-style-type: none"> イベント代理店 アプリストア ソーシャルネットワークなど 	<ul style="list-style-type: none"> Agool Sharek Platinumlist Goticket Apple Store Google Play 	<ul style="list-style-type: none"> 2019年の世界市場は7,550億米ドルを超え、年7%の割合で成長している。世界のユーザー数は16億人に達した 世界市場におけるモバイルのシェアは24%と予測されており、DCB³によるものがもっともシェアが高い 運輸部門がアプリケーションのデジタルチケット販売業界を独占している
ソリューションプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> デジタルウォレット会社 eチケット販売オペレーターなど 	<ul style="list-style-type: none"> Hala Yallah Cloudy Easy Ticket Ticketing Box Office 	<ul style="list-style-type: none"> サウジアラビアの市場規模は全体で推定168億米ドルであり、そのうち観光とエンターテインメントのシェアは6億4000万米ドルと推定されている² スマートウォッチでのデジタルチケット販売などウェアラブルの使用が増加傾向にある
プラットフォームプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> テクノロジーイネイブラー API/SDK/電子決済など サーバー/アルゴリズムなど 	<ul style="list-style-type: none"> Eventmobi Strip Eventbrite Cvent 	<ul style="list-style-type: none"> サウジアラビアの観光に関しては、イベント、アトラクション、映画のデジタルチケット販売において新たな国内のスタートアップ企業が出現している（例：Hala Yalla）
デバイスプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン/タブレットプロバイダーなど 	<ul style="list-style-type: none"> サムスン アップル ファーウェイ Vivo Xiaomi Oppo Oneplus 	
接続プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> モバイル/データネットワーク CDN（コンテンツ配信ネットワーク） 品質管理など 	<ul style="list-style-type: none"> STC Mobily Zain Integrated Telecom ヴァージン・モバイル 	

出典：Telecoming、Wamda、世界銀行

1：世界のGDPに占めるサウジアラビアのシェアから算出、²観光セクターのGDP寄与度3%、年間成長率12%から算出

3：キャリア決済

(1) 市場セグメントの分析

テクノロジーセグメント – デジタル決済

- サウジアラビアのデジタル決済セグメントは市場の指針や位置づけから見ると魅力的であり、外国人投資家にとっては絶好の投資機会が生じている。

業界構造	説明	大手	重要事項
配給業者／広告主	<ul style="list-style-type: none"> • アプリストア • 金融機関など 	<ul style="list-style-type: none"> • Apple Store • Google Play • リヤド銀行 	<ul style="list-style-type: none"> • 世界のデジタル決済⁽¹⁾は2020年末までに4.9兆米ドルに達すると予測されており、24%のCAGRで成長している • 世界のユーザー数は2020年末までに34億人に達する • サウジアラビアの市場は171億米ドルと推定されている。ユーザー数は2,100万人であり、うち45%がモバイル決済を利用している • サウジアラビアの観光業では、航空券の購入がデジタル決済の最大のシェアを占めている • Fintech Saudiは2018年に設立され、現在稼働しているフィンテック企業の数14社に達している • サウジアラビアはビジョン2030の下で、2030年には全決済の70%を電子化することを目指している（2016年は18%）
ソリューション プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> • デジタルウォレット会社 • eチケット販売オペレーターなど 	<ul style="list-style-type: none"> • STC Pay • Riyadh Pay • Apple Pay • Finabl 	
プラットフォーム プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> • テクノロジーイネイブラー • API/SDK/電子決済など • サーバー/アルゴリズムなど 	<ul style="list-style-type: none"> • Mada • ビザ • マスターカード • ペイパル 	
デバイス プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> • スマートフォン/タブレットプロバイダーなど 	<ul style="list-style-type: none"> • サムスン • アップル • ファーウェイ • Vivo 	
接続プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> • モバイル/データネットワーク • CDN（コンテンツ配信ネットワーク） • 品質管理など 	<ul style="list-style-type: none"> • STC • Mobily • Zain 	

(出所) モルドルインテリジェンス、スタティスタ、Saudi Gazette、WTTC

(1) インターネットを介して行われた製品やサービスの決済、およびスマートフォンアプリを介したPOS (point-of-sale) でのモバイル決済を含む

(2) キャリア決済

(1) 市場セグメントの分析

テクノロジーセグメント – AI/IoT翻訳デバイス

- スマート翻訳デバイスセグメントは今後数年間で成長すると見込まれているが、今は初期段階にある。従って、現状では外国人参入者にとって特段に魅力とはいえない。

業界構造	説明	大手	重要事項
配給・販売業者	<ul style="list-style-type: none"> eコマースプラットフォーム 小売業者など 	<ul style="list-style-type: none"> アマゾン Noon Ubuy Jarir Bookstore DesertCart Joom 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の翻訳デバイス市場は2018年に1億400万米ドルと推定され、2023年まで13%のCAGRで成長すると予測されており、主に旅行部門が成長を支えている サウジアラビアでは市場は初期段階にあり、今後想定されている観光客の増加を機に成長するとみられる オンラインは依然としてAI/IoT翻訳デバイスの主要な販売チャネルである 主な傾向を見ると、翻訳とAI（主要プレーヤーの80%がAIに投資している）を組み合わせ、リアルタイムの言語翻訳デバイスを提供している サウジアラビア政府は新興テクノロジーを力強くサポートしており、AIセクターを支援する10億米ドルの基金を設立し、SADIA（サウジアラビアAI庁）を立ち上げている
ソリューション/ デバイスプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> 携帯用 ウェアラブル スマートフォンなど 	<ul style="list-style-type: none"> PockeTalk アイベシー Timekettle Buoth Langogo 	
プラットフォーム プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> 開発者ポータル API SDK（ソフトウェア開発キット）/アルゴリズムなど 	<ul style="list-style-type: none"> Google AI BigML Azure Machine Learning IBM Watson Infosys Nia 	
接続プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> モバイル/データネットワーク CDN（コンテンツ配信ネットワーク） 品質管理など 	<ul style="list-style-type: none"> STC Mobily Zain Integrated Telecom ヴァージン・モバイル Go Mobile 	

バリューチェーン

(出所) Prnewswire、ビジネスインサイダー、アラブニュース

(1) 市場セグメントの分析

テクノロジーセグメント – デジタルサイネージ

- 同様に、観光デジタルサイネージセグメントは競争が激しく、市場規模も小さい。従って、外国人投資家にとって特段に魅力とはいえない。

業界構造	説明	大手	重要事項
インテグレーター/ 配給業者	<ul style="list-style-type: none"> 設置/展開/中央管理会社など 	<ul style="list-style-type: none"> Bits Refad Tamam Comm-IT T-Force Faden Spectrum 	<ul style="list-style-type: none"> 世界のデジタルサイネージ市場は2019年に190億米ドルと推定されており、2019年から2025年にかけてCAGRは8%に達すると予想されている サウジアラビアのデジタルサイネージ市場は1億から2億5000万米ドルの範囲内にあるとみられている¹
クリエイティブ コンテンツプロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> デザインスタジオ 広告代理店など 	<ul style="list-style-type: none"> Moments Room 11 Nithar Quartz Ya Studio Tasmeem 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージ市場に占めるホスピタリティセグメントの割合は推定10%²未満であるため、2,500万米ドルを超えない
システム/ソフトウェア プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> サーバープロバイダー ソフトウェアプロバイダー CMS (集中管理システム) ステーションプロバイダーなど 	<ul style="list-style-type: none"> iBase NexCom Navori Marvel Hexnode HP デル 	<ul style="list-style-type: none"> 最大のサブマーケットはハードウェアとディスプレイ、次いでソフトウェアとサービスである
ディスプレイ プロバイダー	<ul style="list-style-type: none"> LCD/タッチパネルサプライヤーなど 	<ul style="list-style-type: none"> LG NEC パナソニック フィリップス シャープ サムスン ダイナスキャン Aopen 	<ul style="list-style-type: none"> サウジアラビアのメガプロジェクトとスマートシティがハイエンドのデジタルサイネージに対する大きな需要を引き起こすだろう

バリューチェーン

(出所) Grand View Research、Gminsights、Saudi Gazette

(1) 世界のGDPに占めるサウジアラビアのシェアから算出

(2) Gminsightsの市場レポートの米国の値を代用して算出

(1) 市場セグメントの分析


テクノロジーセグメントの魅力

- 日本の投資家のための各テクノロジーセグメントの魅力度調査の結果

サービスセグメント	市場規模	市場成長	競争	政府の支援	全体的な魅力
2.1 AR/VRテクノロジー	非常に好ましい	非常に好ましい	やや好ましい	非常に好ましい	非常に好ましい
2.2 スマートツーリズムアプリ	非常に好ましい	非常に好ましい	好ましくない	非常に好ましい	やや好ましい
2.3 ウェブデザイン	好ましくない	やや好ましい	好ましくない	非常に好ましい	好ましくない
2.4 デジタルチケット販売	非常に好ましい	やや好ましい	非常に好ましい	非常に好ましい	非常に好ましい
2.5 デジタル決済	非常に好ましい	非常に好ましい	やや好ましい	非常に好ましい	非常に好ましい
2.6 AI/IoT翻訳デバイス	好ましくない	非常に好ましい	非常に好ましい	非常に好ましい	やや好ましい
2.7 デジタルサイネージ	好ましくない	非常に好ましい	やや好ましい	やや好ましい	やや好ましい

好ましくない 

やや好ましい 

非常に好ましい 

目次

1. 市場概況

- (1) サウジアラビアの観光産業
- (2) 主要な観光統計
- (3) 主な観光名所とイベント



2. 市場参入情報

- (1) 市場セグメントの分析
- (2) 市場参入モデル
- (3) 市場参入の規制と優遇措置

(2) | 市場参入モデル

市場参入 - オプションの説明

- GCC（湾岸協力機構）加盟国以外の外国人投資家がサウジアラビア国内でビジネス促進を希望する場合、複数の参入オプション¹がある。投資省によって制限されているものを除き、あらゆる商業活動を行うことが許されている。

 市場参入形態	 説明
1 有限責任会社 (Limited Liability Company; LLC)	<ul style="list-style-type: none"> ・ サウジアラビアで最も一般的な企業体であり、外国企業の投資形態である。LLCは合併事業を設立するために使用されることが多い。このタイプの事業体には外国人の所有割合の制限がない。LLCの登記は、投資省から外資投資ライセンスを取得する必要があるため、複雑で時間がかかる
2 支店	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国企業は必要な免許を取得した後、完全外資となるサウジアラビア支店を登記することができる。サウジアラビア全土でのビジネス活動と、官民部門の両方で事業活動を行うことができる。サウジアラビアの法律により、既存のGCC企業は、サウジアラビア国内に設置した支店を法人化するよう義務付けられている
3 株式会社 (Joint-Stock Company; JSC)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社の運営に適用される規定は、LLCに適用される規定よりも詳細になっている。株式会社の設立には、投資省と商務省の両方から許可を取らなくてはならない。投資省によって規定された特定カテゴリーを除き、一般的に必要な最低資本金は50万SARである
4 駐在員事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ サウジアラビアの法律では、専門的なテクニル・サイエンス・オフィス（TSO）および暫定的な会社登記の形態で、駐在員事務所を設立することが認められている。販売業者が、製造業者に技術的なサポートを提供するために設立することが多い。ただし、商業活動を行ったり、収入を得たりすることはできない
5 商業代理店	<ul style="list-style-type: none"> ・ この手段では法人を設立する必要がないため、サウジアラビア市場に参入する最も手頃で迅速な方法といえる。商業代理店契約を結ぶことで、外国投資家は外国投資ライセンスを取得することなく、現地代理店を通じてサウジアラビアでビジネスを行うことができる。




(出所) Saudi Export、投資省、ベーカーマッケンジー

(1) その他のオプションには、ゼネラルパートナーシップ、有限パートナーシップ、商業仮登記された事業体などがある。Copyright © 2021 JETRO. All rights reserved.

(2) | 市場参入モデル

市場参入 - オプション分析

- サウジアラビア市場に参入する場合、様々な参入オプションのメリットとデメリットを幅広く理解して、最適なオプションを決定する必要がある。


 市場参入形態	 長所	 短所
1 有限責任会社 (Limited Liability Company; LLC)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共部門と民間部門の両方で幅広い事業活動に従事し、プロジェクトに着手することができる ・ LLCは従業員に対して、サウジアラビアに居住させる目的でスポンサー（身元引受人）となることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業活動は投資省が承認する目的の活動に限定されている ・ 外国人パートナーは経営を完全には管理できない ・ 解散プロセスがかなり複雑でコストがかかる可能性がある
2 支店	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設立プロセスが一般的にLLCよりも簡単である ・ 公共部門と民間部門の両方で幅広い事業活動に従事し、プロジェクトに着手することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業活動は投資省の承認によりライセンスを取得した目的の活動に限定されている ・ 投資省の規定する資本水準 ・ 外国人投資家は自国本社も訴訟の対象となる
3 株式会社 (Joint-Stock Company; JSC)	<ul style="list-style-type: none"> ・ LLCと比較して、2年間のロックアップ期間後の株式譲渡の柔軟性が高い ・ 株式や債券の発行による資本へのより容易なアクセス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LLCと同じデメリット ・ 設立時に資本金が必要であり、かなり高額になる可能性がある ・ LLCよりもJSCの方が規制監視が強化されている
4 駐在員事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ LLCよりも設立プロセスが簡単である ・ 資本要件なし ・ 取得したビザで従業員をサウジアラビアに入国させることが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地のプロモーションや代理店サポート以外で、サービスや手数料を稼ぐ業務を実施することはできない ・ 外国人投資家は自国本社も訴訟の対象となる
5 商業代理店	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設立プロセスは必要ない ・ 資本要件なし ・ 市場に参入する最も速くて簡単な方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネス、サービス品質、またはブランドイメージに対する管理権限がない ・ フロンティング（再保険スキーム）規制に違反するリスク

(出所) Saudi Export、投資省、ベーカーマッケンジー

(2) | 市場参入モデル

市場参入 - オプション評価

- LLCとJSCはサウジアラビアに参入する外国人投資家にとって最も一般的な形態であるが、支店または商業代理店は最も簡単かつ迅速に市場に参入することができる。

 市場参入形態	資本金規制	設立プロセスの 容易さ	事業活動の範囲	その他の 法的条件 ¹	全体的な魅力
① 有限責任会社 (Limited Liability Company; LLC)					
② 支店					
③ 株式会社 (Joint-Stock Company; JSC)					
④ 駐在員事務所					
⑤ 商業代理店					

(1) 株主数、経営体制、解散・破産手続きを含む

好ましくない



やや好ましい



非常に好ましい



目次

1. 市場概況

- (1) サウジアラビアの観光産業
- (2) 主要な観光統計
- (3) 主な観光名所とイベント

2. 市場参入情報

- (1) 市場セグメントの分析
- (2) 市場参入モデル
- (3) 市場参入の規制と優遇措置

(3) | 市場参入の規制と優遇措置

市場参入 – 企業設立に関する規制枠組み

- 外国人投資家は登記手続きを始める前に、サウジアラビアの規制の枠組みに目を通して、必要なライセンスの内容と認可された事業活動を理解しなくてはならない。

法定ライセンス			ネガティブリスト	
サービスライセンス	工業ライセンス	テクニカル・サイエンス・オフィスのライセンス	軍事部門に便宜を図るサービス	治安および調査サービス
政府／半政府契約の履行のための一時的なライセンス	商業ライセンス	輸送ライセンス	メッカとメディナでの不動産投資	巡礼および小巡礼に関連する観光オリエンテーションおよびガイドサービス
技術・経済コミュニケーションオフィスのコンサルティングライセンス	代理店へのサービス提供と人材派遣	視聴覚メディア	人材紹介サービス	国際的にCPC621に分類されている代理店
農業ライセンス	探鉱ライセンス	印刷および発行ライセンス	海洋生物資源の漁業／狩猟	毒物センター、血液銀行、検疫
政府プロジェクトの提案を提出するための暫定的な認可	不動産ライセンス	エンジニアリングオフィスのコンサルティングライセンス	助産師および看護師によるサービス、理学療法サービス、国際的にCPC93191に分類されている準医療サービス	
起業ライセンス	サウジアラビアの株主との専門職ライセンス			

(出所) サウジアラビア投資省 (MISA)

(3) | 市場参入の規制と優遇措置

市場参入 - 全体的な登録プロセス

- サウジアラビアで企業を設立する外国人投資家は、サウジアラビアで事業を行う前に、必要な全ての法的証明書と法定書類を用意する必要がある。

段階	ステップ	備考
● 設立前	前提条件書類の準備	営業許可、投資計画、サウダイゼーション計画、財務諸表、委任状などの書類が必要
● 法人化	外国投資ライセンスの発行	投資省サービスポータルを介して申請。許可が降りるまでは約1～数か月
● 法人化	基本定款の文書化	法的構造に応じて手続きが若干異なる。例として、支店の親会社はサウジアラビアに支店を設立する決定を提出する必要がある
● 法人化	商業登記の発行	登記手続きには約6週間を要する。その後、商務省がCR（商業登記）と納税者番号を発行する
● 設立後	法的条件を満たし、ライセンスを取得する（税金面、自治体の条件などを含む）	このステップでは事業所の確保、資本金の銀行口座の開設、および関連する法定書類の用意が含まれる
● 設立後	事業主/最高責任者のイカーマ（住民）ビザを取得	外国人が現地の銀行口座を開設するには、サウジアラビアの就労ビザを取得しなくてはならない

（出所）サウジアラビア投資省（MISA）

(3) | 市場参入の規制と優遇措置

市場参入 – 課税および財政上の考慮事項

- サウジアラビアには法人税、源泉徴収税、付加価値税（VAT）など各種の税制がある。外国投資家に関係する様々な財政的影響を明確に理解する必要がある。

法人税	源泉徴収税	付加価値税	その他の税金
<ul style="list-style-type: none"> 法人所得税率は純利益の20%であり、以下に適用される 1. サウジアラビアの居住者の資本会社（LLCまたは株式会社）の課税ベース（総収入-課税控除対象費用）における非居住者/GCCの持分 2. 非居住者（恒久的施設を通じてサウジアラビアで事業を行う者） 課税所得は、純利益に控除できない費用を加算し、控除できる費用を差し引くことによって決定される 	<ul style="list-style-type: none"> サウジアラビアの国内法人の株式を売却する非居住株主は、キャピタルゲインに対して20%の税率が課せられる 日本との条約による源泉徴収税（居住者から非居住者へのサービスの支払い）の国内税率は、配当総額の5%~10%、利子の10%、ロイヤルティの5~10% サウジ証券取引所に上場している有価証券の売却によるキャピタルゲインは免除される 	<ul style="list-style-type: none"> VATは2018年に導入され、最近（2020年7月）15%に引き上げられている VATは特定の例外を除き、商品やサービスの輸入と供給に適用される 	<ul style="list-style-type: none"> サウジアラビアを拠点としない会社の支店の課税所得は20% 締約国の居住者が不動産から得た所得は、当該の締約国で課税される場合がある
		関税	二重課税条約
		<ul style="list-style-type: none"> 2020年6月現在の関税率は0.5%~15% 特定の現地生産商品は、現地生産を保護するために20%の関税が課せられる 	<ul style="list-style-type: none"> 50カ国以上と租税条約を締結しており、通常は経済協力開発機構（OECD）モデルに従っている 日・サウジアラビア租税条約にも二重課税の回避が盛り込まれている

(3) | 市場参入の規制と優遇措置

市場参入 – 外国人投資家への優遇措置

- サウジ・ビジョン2030の新たな投資政策および経済改革プログラムでは、投資環境を改善し、外国人投資家を引き付けるための多くの優遇措置が設けられている。



優遇措置

- 外国人投資家の所有制限の撤廃。100%の所有が可能に。
- 外国人投資家の利益の持分の返還、株式の売却金または清算余剰金を含む、サウジアラビアからの資本または利益の移転に対する制限はない。
- 二重課税の回避に加え、個人所得税がなく法人の所得税も比較的低い（約20%）。
- サウジアラビア全土の複数の地域および経済都市での外資に対する税制優遇措置。
- 差別の禁止、投資保護、投資の持続可能性、透明性の向上、公共政策の懸念の保護、従業員の入国の簡素化、知識および技術の移転など規制の枠組みが刷新された。
- 現地の金融機関から資金へのアクセスが可能。
- 米ドルとの固定相場制を採用している強い現地通貨サウジ・リアル（SAR）。
- メガプロジェクトやその他の前向きな見通しが期待できるイニシアチブが採用され、インフラの大規模改良が進行中。
- SEP¹からの輸出信用、保証、保険など、現地生産商品の輸出スキーム。
- 現在進められている大規模な民営化プログラム。
- サウジアラビアの労働力の社会復帰、研修、雇用のための人事プログラムと優遇措置。

(出典) Invest in Saudi、Argaam、Santander Trade

(1) サウジ輸出プログラム

(3) | 市場参入の規制と優遇措置

市場参入 - リスクと注意点

- 外国人投資家は参入する前に慎重に調査を行い、現地の規制の枠組み、市場の状況、文化的特性に精通する必要がある。



リスクと注意点

- 市場に参入する前に、特定のターゲットセグメントに関する綿密な市場調査と専門家のアドバイスが必要である。
- 商事紛争の解決、破産法、サウジアラビア企業に対する外国の裁判所および仲裁センターの判決の執行など、投資の法的枠組みに関しては依然として不透明な側面がある。
- 政府のサウダイゼーション策により、サウジアラビア人従業員の採用割り当てが課されている。
- アルコールやギャンブルを全面禁止するなど、伝統的に保守的な文化。
- 法律の侵害または違反に関連する現地の規制や罰則に精通する必要がある。
- サウジアラビア経済は依然として石油価格と政府支出に大きく依存している。
- イエメンの戦争と中東情勢の不安定性に関する政治的リスク。

(出典) ロイター、ソシエテ・ジェネラル

(3) | 市場参入の規制と優遇措置

観光改革と開発のための政策提言 ①

- サウジアラビア観光産業のポテンシャルを最大限に引き出すための複数の改革と開発プログラムの政策提案



提言リスト

- 1 FDI政策と投資政策の枠組みを調整して、より多くの観光関連の外国投資を呼び込む。例として、外国投資家が地方の観光不動産プロジェクトに参入する際の最低資本要件の引き下げなど。
- 2 ホテルおよびテーマパーク施設の輸入のための枠組みを導入する。例として、通関手数料の繰り延べや割引など。
- 3 ホテルや観光プロジェクトに税制上の優遇措置を設け、制限を撤廃する。例として、地税や法定料金の引き下げなど。
- 4 外資の旅行企業の登録のためのショートカットプロセスを浸透させ、行政上および規制上のボトルネックに対処する。
- 5 地域協力の機会を探り、エジプトやアラブ首長国連邦などの近隣の観光先進国を活用する。
- 6 人材育成と能力開発の方針を策定し、サウジアラビアの若者の高等教育の機会を拡大するとともに、専門技能などの技能訓練機会を改善する。
- 7 持続可能な観光とグリーン慣行を促進し、現地の自然および社会的な特性を保護するための政策を考案する。例として、観光税など。

(3) | 市場参入の規制と優遇措置

観光改革と開発のための政策提言 ②

- サウジアラビア観光産業のポテンシャルを最大限に引き出すための複数の改革と開発プログラムの政策提案



提言リスト

- 8 サウジアラビアの主要な観光地の積極的なマーケティングと目的地のブランド化のための一貫した戦略を開発する。
- 9 観光セクターにおけるイノベーションと知識経済を促進するための先を見越した観光政策を考案する。例として、新しいビジネスモデルの開発など。
- 10 規制の枠組みを近代化し、デジタル経済に参加する中小企業の能力を強化することにより、観光のデジタル変革を積極的に推進する。
- 11 観光関連の中小企業が世界市場にアクセスできるよう支援し、トレーニングと能力開発を促進するための政策を浸透させる。
- 12 航空サービスをさらに自由化し、国際航空会社へのアクセスを拡大して、サウジアラビアへの接続性とアクセスを改善する。
- 13 サウジアラビアの観光名所を国際的なツアーオペレーターに周知してもらうための視察旅行を実施する。
- 14 観光コミュニティやグループが直面する課題に対処するために、全国レベルの観光協会を設立する。

(3) | 市場参入の規制と優遇措置

観光改革と開発のための政策提言 ③

- サウジアラビア観光産業のポテンシャルを最大限に引き出すための複数の改革と開発プログラムの政策提案



提言リスト

- 15 観光名所をさらに盛り上げる観光商品や体験を開発することで、体験型観光を促進する。例として気球、コンサート、その他娯楽など。
- 16 価格競争力を強化してインバウンド観光を拡大する。
- 17 都市間の接続性を改善する機会を検討する。例として、都市間の観光用バンやバスの定期便など。
- 18 クルーズ観光開発戦略を作成する。
- 19 観光サービスプロバイダー（ツアーオペレーターなど）の認可および標準化政策を策定し、品質基準を保証する。
- 20 旅行・観光サテライト勘定、測定および評価プロセス、および観光を重視した政策を導入する。

(3) | 市場参入の規制と優遇措置

付録：商業代理店の一般規定

- 商業代理店法とは商務省が管轄する一連の規定および規制であり、現地代理店と外国請負業者との関係を規制する最低条件を示している。



商業代理店 - 一般規定

- 自然人か法人を問わず、サウジアラビア人以外は、サウジアラビアにおいて商業代理店として事業を行うことはできない。
- 商業代理店は商務省の商業代理店登記簿に登録されなければ、商業代理店の事業を行うことはできない。
- 商業代理店契約には、特定の基本条件（当事者、対象事項、条件、契約終了手順など）およびサウジアラビアで施行されている規制に従ったその他の事項を含めなくてはならない。
- サウジアラビアの代理店／配給・販売業者は、サウジアラビア政府の要件を満たさない商品を受け入れる必要はない。
- 兵器契約および関連サービス、政府間取引における代理店契約は禁止されている。
- 事業を多角化している外国企業は、複数のサウジアラビアの代理店を任命することができる。サウジアラビアの代理店は10社以下の外国の請負業者の代理として事業を行うことができる。
- サウジアラビアの代理人は外国の請負業者から、外国の請負業者が実施する契約額の5パーセントを超えない合意された金額を受け取るものとする。
- 代理店は影響力やつながりを利用することを目的としてはならない。
- 商事紛争仲裁委員会は他の法規の規定を害することなく、外国企業とそのサウジアラビアの代理人との間で発生する紛争を調査する権限を与えられるものとする。

レポートをご覧いただいた後、アンケート（所要時間：約1分）にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20200028>



（本資料に関するお問い合わせ先）

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中東アフリカ課



Tel: 03-3582-5180



E-mail: orh@jetro.go.jp



〒107-6006
東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル6階

■ ご注意

本資料は情報提供を目的に作成したものです。ジェトロは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じてもジェトロは責任を負うことができませんのでご了承ください。

禁無断転載